

■「効果の見える治水事業」

土砂災害から生命・身体を守るソフト対策の取り組み

愛媛県土木部河川港湾局砂防課長 青野 正人



毎年、梅雨や台風の季節が来ると、崖崩れなどの土砂災害の発生が懸念されます。さらに、近年では、地球温暖化の影響とされる異常な集中豪雨や局地的な大雨が全国各地で発生し、これらを原因とする土砂災害が多大な被害を与えています。

本県は、急峻な地形と脆弱な地質構造から、土砂災害危険箇所が、約1万5,000カ所(全国第14位)と非常に多く、土砂災害が発生しやすい環境にあるため、過去10年間の土砂災害発生件数は年平均73件に上り、全国平均の約3倍となっています。このため、土砂災害対策として従来から保全人家が多い箇所等の施設整備に重点的に取り組んでいます。しかし、頻発する災害から県民の生命・身体を守るためには、ハード対策に加えまして、早目の避難や土地利用の規制につながるソフト対策の重要性が益々高まっています。

よって、本県では、ソフト対策としまして、土砂災害防止法に基づき、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域を土砂災害警戒区域として2,266カ所指定し、市町に対して災害時における警戒避難体制の整備を促すほか、このうち特に危険な範囲を特別警戒区域として2,030カ所指定し、開発行為の制限や住宅の建築規制などを行っており、新たな区域指定にも鋭意取り組んでいるところです。

また、市町長の的確な避難勧告の発令につながるよう、气象台と共同で土砂災害警戒情報の発表に取り組むほか、毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、県内各地で市町と連携し、約1,600人が参加した避難訓練の実施や、市町、消防、警察等の協力のもと、約200箇所の危険箇所パトロールを実施しています。

さらに愛媛県砂防ボランティア協会と連携し小中学生を対象とした砂防学習会を11校において実施するほか、絵画・作文コンクールの開催など、地域の防災力の強化や防災意識の向上を図っているところです。

今後とも、本県におきましては、一層の普及啓発活動に積極的に努め、地域一体となった防災意識の向上に取り組むことにより、地域住民の早めの避難につながるよう、ソフト対策を推進いたします。併せて、ハード対策も積極的に取り組み、ハード・ソフト一体となった総合的な土砂災害防止対策を推進し、県民の安全・安心の確保に努めてまいりたいと考えております。

避難訓練



砂防学習会



土石流3D体験シアター



やすらぎの森から夢づくり 人と自然が睦まじく暮らす町

愛媛県 鬼北町長 甲 岡 秀 文



鬼北町【さほくちょう】は愛媛県南西部に位置し、旧広見町・旧日吉村の1町1村が2005年1月に合併した町です。総面積は241.87平方キロメートルで、1,000メートル級の山地に囲まれた典型的な中山間地域で、清流四万十川の最大級の支流である広見川や足摺宇和海国立公園に指定されている成川溪谷など、豊かな自然をベースとした観光資源に恵まれています。

そこで、これらの自然景観を利用して特産品として雉(きじ)を養殖・加工・商品化して全国販売を展開しています。そして宿泊施設や道の駅(2ヶ所)、温泉、公園、観光農園等を整備しており、地域間交流の促進と経済の活性化に大きな成果をあげています。また全国で「鬼」のつく自治体は、鬼北町だけという特徴を生かして現在、鬼をモチーフにして鬼のモニュメントを作成するなど、若者を中心に「鬼プロジェクト」を進行中です。

一方で四方を山に囲まれ、河川が縦横に流れる中山間地域特有の地形である本町は、津波こそありませんが、近年の台風やゲリラ豪雨等において河川の氾濫や土砂災害に毎年苦慮しております。そうした中で、当町において最大級の河川である広見川と大宿川の改修工事、また砂防河川有瀬川の改修や下大野地区での急傾斜地対策工事を県が事業主体となって施行していただいております。また、今後も愛治稲屋地区の急傾斜地対策事業、堂の奥川の砂防施設の工事が施行されることが決まっており、安心していただいております。しかしながら、ハード面だけの事業はお金と時間がかかり、全てが満足いくものとはなっておりません。そこで「自分の命は自分で守る」ために自主防災組織の結成と活動の取り組みを進めております。現在の組織数は56地区で組織率は約95%となっており、並行して防災士の育成にも力をいれております。

また、防災情報をいち早く住民に知らせるため、光ファイバケーブルを利用したIP告知端末を各家庭に設置しています。しかし集落が町内全域に点在している当町では、災害発生時には道路や回線が寸断され情報が途絶することも考えられます。そこで、それらの地域からの情報収集や、災害対策本部からの迅速で正確な情報伝達を行う高度な防災情報通信施設の整備が必要不可欠であるため、双方向の同時通信ができるデジタル同報系防災行政無線を現在整備中です。

今後とも、自然と共生しながら、「安心・安全なまちづくり」に取り組んでまいりたいと思っております。

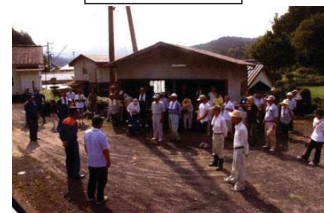
キジ料理



鬼のモニュメント



防災訓練風景



炊き出し訓練

